

【雫石町】

1人1台端末の利活用に係る計画

1 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

1人1台端末と学校における通信ネットワーク環境を一体的に整備することで、特別な支援を必要とする児童生徒も含め、1人1人に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できるICT環境を実現する。

2 GIGA第1期の総括

当町では、令和2年度からGIGAスクール構想に対応するネットワーク環境の整備を進め、1人1台端末を導入した。

端末導入に伴い、授業支援教材として株式会社SKYの学習活動端末支援Webシステム「SKYMENU Cloud」、教育用ソフトウェアであるラインズ株式会社の「eライブラリアドバンス」、プロジェクタ式電子黒板の導入等、ICT教育の環境整備を進めた。併せて、希望世帯へのモバイルWi-Fiルーター貸与事業等も実施し、家庭学習体制の充実を図った。

また、GIGA第1期の端末OSには「Windows」を採用しており、社会一般で広く採用されているOSであるため、円滑な運用開始ができた。一方で、課題点も見受けられ、端末の安全性を確保するため様々なセキュリティやネットワークに接続することでアップデートが頻発し、その結果、起動時間が遅くなり授業中に使用できない事例が多発した。

上記の教育現場での課題を解決するため、教育委員会内での協議や近隣自治体、事業者等からの情報収集を行い、当町では次期端末OSに「Chrome OS」を採用することとした。Chrome OSはバックグラウンドでの自動アップデートが可能のため、既存端末より起動時間が短縮することが期待されるものである。併せて、使用する各種ソフトウェアについても、教育現場の意見を聴取し、随時見直しを行う。

3 1人1台端末の利活用方策

(1) 教職員へのサポート体制

従来のWindows端末からChrome OS端末へ変更するにあたり、OS事業者であるGoogleによる各種研修を教職員向けに実施する。また、学校間で取り組みの差が生じないよう、ICT教育に関する資料の提供や支援体制の充実を図る。

(2) ICT支援員の活用促進

ICT支援員を継続して任用し、各学校における課題の解決、端末を活用した授業運営の支援を行う。

(3) 1人1台端末の日常的な利活用

1人1台端末を積極的に活用するため、児童生徒の利用状況を把握し、日常的な学習に支障が生じないようネットワーク通信環境の改善を進める。また、全ての児童生徒の学習機会を保障するため、不登校や体調不良等で欠席した児童生徒がオンラインで学習できるよう、端末の利活用を推進していく。

4 今後の計画

上記1人1台端末の利活用方策における重点的に取り組む事項については、令和6年度から情報収集を進め、随時各学校への情報提供に取り組む。

また、端末の整備としては、これまでの課題やこれから解決する必要がある課題について、児童生徒の1人1台端末の利活用がなくては解決できないものであると考えられるため、今回整備する端末の更新が必要となる時期（5年後を予定）に、児童生徒の学びに空白が生まれないよう確実に更新を行う。